

問1 宮崎県などで盛んな、ビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早める「促成栽培」において、冬から春にかけての時期に出荷を集中させる主な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため | 2. 他地域からの入荷量が多く市場価格が安定している時期に供給し、販売量を増やすため | 3. 冬の寒さを利用して作物の品質を向上させ、他の農産物との差別化を図るため | 4. 春先の害虫被害を避けるために、収穫時期をあえて市場の需要が低い時期にずらすため |
|---|--|--|--|

問2 大分県において、水力や風力などの再生可能エネルギーが導入されている一方で、火力発電による発電量が年間13,500百万kWhを超えるほど大きな割合を占めている背景として、最も適切なものはどれですか。（2026年 秋田公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 沿岸部に新産業都市に指定された鉄鋼業や石油化学工業などの重化学工業が集まっているため | 2. 急峻な地形が多く、大規模な太陽光発電や水力発電の建設に適した土地が不足しているため | 3. 周辺の県に比べて人口が極めて多く、家庭用電力の消費が全国トップクラスであるため | 4. 温泉資源の保護を目的として、地熱発電を含む火力以外の発電施設の建設が制限されているため |
|---|--|--|--|

問3 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。 | 2. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。 | 3. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。 | 4. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため |
|---|--|--|---|

問4 九州地方の阿蘇山などで見られる、火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、山頂部が陥没するなどして形成された大規模な凹地を何といいますか。（2019年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. カルデラ | 2. シラス台地 | 3. リアス海岸 | 4. 楯状火山 |
|---------|----------|----------|---------|

問5 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|------|------|
| 1. 肉用牛 | 2. 乳用牛 | 3. 豚 | 4. 鶏 |
|--------|--------|------|------|

問6 沖縄などの南西諸島に見られる伝統的な家屋では、家の周囲を丈夫な石垣で囲む工夫がなされています。このような造りになっている主な理由として、地域の自然環境の特徴と関連付けて説明したものを選びなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 冬の季節風によって運ばれてくる大量の積雪から家屋が押しつぶされるのを防ぐため。 | 2. 夏から秋にかけて頻繁に接近・上陸する台風による激しい風から家屋を守るため。 | 3. 近くにある大規模な飛行場などの軍事基地から発生する激しい騒音を遮断するため。 | 4. 標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を最小限に食い止めるため。 |
|--|--|---|--|

問7 九州地方の農業について述べた次の文のうち、鹿児島県の農業産出額の構成的特徴を正しく説明しているものはどれか。（2017年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 農業産出額の約6割を畜産が占めており、特に豚や肉用牛の生産が全国有数の規模である。 | 2. 平坦な筑紫平野を中心に稲作が行われ、農業産出額の半分以上を米が占めている。 | 3. 宮崎県と同様に、平野部における野菜の促成栽培が産出額の大部分を占めている。 | 4. 有明海沿岸の干拓地を中心に、クレークを活用した麦と米の二毛作が農業産出額の柱となっている。 |
|--|--|--|--|

問8 九州地方南部の鹿児島県の大隅半島や薩摩半島、宮崎県の一部にかけて、火山の噴出物である火山灰などが厚く降り積もって形成された広大な台地を何と呼びますか。（2017年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|-----------|--------|--------|
| 1. シラス台地 | 2. カルスト台地 | 3. 扇状地 | 4. 干拓地 |
|----------|-----------|--------|--------|

問9 鹿児島県の自然環境と産業の特色について説明した文として、適切なものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 薩摩半島と大隅半島に挟まれた湾の中に桜島という活発な火山があり、周辺の台地では肉用牛や豚の飼育が盛んに行われている。 | 2. 県内の大部分が盆地で構成されており、火山灰の肥沃な土壌を活かして、ブランド米の生産が県内農業の収益の柱となっている。 | 3. 九州山地から流れる急流を活かした水力発電が盛んで、その安価な電力を利用して沿岸部ではアルミニウム工業が発達している。 | 4. 温暖な気候を活かした促成栽培が中心であり、ピーマンやなすの生産量が日本一である一方、畜産業は小規模に留まっている。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため	宮崎県のような温暖な地域では、その気候条件を活かして他の地域が生産できない冬から春にかけて作物を栽培します。市場全体の入荷量が少ない時期に出荷することで、需要と供給のバランスにより価格が高騰するため、通常よりも高い収益を得ることが可能になります。このように出荷時期を調整して経済的利点を得ることが、促成栽培の大きな目的です。
問2	答え 1 沿岸部に新産業都市に指定された鉄鋼業や石油化学工業などの重化学工業が集まっているため	大分県では、1960年代に「新産業都市」の指定を受けたことをきっかけに、別府湾沿岸の大分臨海工業地域において製鉄所や石油化学コンビナートなどのエネルギー消費の激しい重化学工業が発達しました。これらの産業に必要な電力を安定的に供給するため、大規模な火力発電所が稼働しており、県全体の発電量において火力発電が大きな割合を占める要因となっています。
問3	答え 1 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。	1970年代に入り高度経済成長が終わりの時期を迎えると、それまで続いていた地方から三大都市圏への大規模な人口流出（移住）が落ち着きました。これに加え、地方における雇用創出の取り組みが実を結んだことで、大分県などの地方都市において人口の増加が見られるようになりました。バブル経済による地価高騰は1980年代後半の出来事であり、時代背景が異なります。
問4	答え 1 カルデラ	阿蘇山に代表されるこの地形は、大規模な噴火の際に噴火口周辺が陥没することで生まれます。阿蘇山のカルデラは世界最大級の規模を誇り、その内部には多くの人々が住み、鉄道や国道も通っています。シラス台地は火山灰が堆積してできた地形であり、リアス海岸は沈水海岸の一種であるため、形成過程が異なります。
問5	答え 1 肉用牛	九州地方、特に鹿児島県や宮崎県は日本有数の畜産地帯です。広大な土地や気候条件を活かし、肉用牛の生産規模は全国で突出しています。一方で、乳用牛については北海道が全国の産出額の過半数を占めており、九州地方の特色とは異なります。
問6	答え 2 夏から秋にかけて頻繁に接近・上陸する台風による激しい風から家屋を守るため。	沖縄県を含む南西諸島は、夏から秋にかけて「台風の通り道」と呼ばれるほど頻繁に台風が接近・上陸する地域です。激しい風雨による被害を最小限に抑えるため、伝統的な家屋では屋根の瓦を漆喰で固めたり、家の周囲をサンゴ礁の岩石などで作った丈夫な石垣で囲ったりするなどの強風対策が取られてきました。軍事基地の騒音対策や積雪対策は、この地域の伝統的な家屋構造の主な理由とは異なります。
問7	答え 1 農業産出額の約6割を畜産が占めており、特に豚や肉用牛の生産が全国有数の規模である。	鹿児島県は全国でも有数の農業県ですが、その内訳は畜産に特化しているのが特徴です。豚の飼育頭数や肉用牛の飼育頭数、ブロイラー（鶏）の生産量は全国トップクラスであり、農業産出額の統計においても畜産の割合が圧倒的に高くなっています。選択肢にある野菜の促成栽培は宮崎県や高知県、二毛作や稲作中心の形態は福岡県や佐賀県に見られる特徴です。
問8	答え 1 シラス台地	九州地方南部は過去の巨大な火山活動の影響を強く受けており、噴出した火山灰や軽石などが広範囲にわたって堆積しました。このようにして形成された地形はシラス台地と呼ばれ、この地域特有の景観や農業のあり方を規定する大きな要因となっています。
問9	答え 1 薩摩半島と大隅半島に挟まれた湾の中に桜島という活発な火山があり、周辺の台地では肉用牛や豚の飼育が盛んに行われている。	鹿児島県は薩摩半島と大隅半島という二つの大きな半島を持ち、その間にある鹿児島湾（錦江湾）には現在も活発に活動を続ける火山である桜島が位置しています。県内には火山活動に由来するシラス台地が広く分布しており、その土地条件に適応する形で肉用牛や豚の飼育頭数が全国トップクラスになるなど、畜産業が非常に盛んなのが特徴です。促成栽培やピーマンの生産で知られるのは主に宮崎県や高知県などの事例です。